

平成28年度 上市高等学校アクションプラン 年度末評価		— 4 —
① 重点項目	特別活動	
② 重点課題	学校行事の充実と積極的な参加 部活動やボランティア活動、異年齢交流を通しての学校生活の充実	
③ 現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事に対して、リーダーシップを取れる生徒が少ない。</li> <li>・立案、実行までスムーズに流れていくが、行事が近づくにつれて時間的余裕がなくなる。反面、徐々に協力する生徒の数が増えてくる傾向があり、各種行事に対する満足度は68%である。</li> <li>・安易に退部したり、登録はしているが、活動していない生徒も多く見られる。継続して部活動を続けている生徒は、全体の73%である。</li> <li>・ボランティア活動に興味を持つ生徒が多い。</li> </ul>	
④ 達成目標	① 行事に対する満足度	② 部活継続率
	90%以上	75%を維持する
⑤ 方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会及び部活動、各種委員会と連携を図りながら、活動の輪をひろげる。</li> <li>・生徒が自主的に活動に参加しているという充実感をもたせる工夫をする。</li> <li>・部活動の必要性や魅力を知らせ、体力や技術、意識の向上とともに、人間的な成長と個性の伸長を実感させ、学校生活の充実を図る。</li> <li>・地域との連携を図り、積極的に校外でのボランティア活動や地域交流、異年齢交流に参加する。</li> </ul>	
⑥ 達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元ショッピングセンターを活用した各種情報発信を行うとともに、文化部を中心に作品展示等を行った。</li> <li>・校内行事については人気の高い冬季スポーツ大会を除く集計で62%の生徒が積極的に参加したと回答している。また、全員参加でない野球応援の結果を除くと<b>71.8%</b>の生徒が満足であった。</li> <li>・12月末現在、のべ135名(昨年度81名)の生徒が校外ボランティアに参加し充実感を得ている。また、福祉教育サポーター養成講座に45名が参加するなど、生徒たちの意識向上が見られる。</li> <li>・部活動の4月から12月にかけての継続率については、1, 2年生で<b>73.2%</b>が継続(継続しなかった者には幽霊部員を含む)</li> <li>・各種全国大会・北信越大会への参加者は、一昨年16名、昨年35名、本年度1月時点で32名と安定して増加している。</li> </ul>	
⑦ 具体的な取組状況	地域との交流として、地元ショッピングセンターを拠点とした活動発表を継続して実施した。内容は、演劇、吹奏楽演奏、合唱、ダンス、書道パフォーマンス、理科選択者による理科工作(3回)を実施した。いくつかの部は出演依頼を受け多方面での発表を行った。	
⑧ 評 価	C	B
⑨ 学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他校と比較して、地域とのつながりが深い学校であると感じている。</li> <li>・祭礼後の清掃ボランティアや、JAとタイアップして野菜や草花の販売を企画するなど、地域の中における活動が生徒の自信に繋がると思う。</li> </ul>	
⑩次年度以降に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学園祭へ向けて1人1役として全員が活躍できる場を与えられるように準備を進める。</li> <li>・100周年事業へ向けて滑らかに準備作業を進める。</li> <li>・運動部、文化部に限らず、顧問の負担を考慮しつつも、活動の活性化を図る。</li> <li>・部活動のみならず多くの生徒が活躍できる環境作りに努める。</li> </ul>	

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状のまま D：後退した)